

# 栗田小だより

第9号 2014,12,4発行  
横須賀市立栗田小学校  
校長 福田 倫弘

12月 

## 多くのの方々の来校と児童の笑顔

11月22日(土)には、午前中、学校公開日「コミコミスクール」と、午後PTA主催による「栗田っ子広場」がありました。330名以上の来校者があり、児童の授業の様子を見ていただきました。算数や国語、道徳をはじめ、生活科の「わくわくおもちゃランド」、理科の体積膨張実験、携帯電話教室、体育のサッカーなど多教科等にわたり児童の活動を見ることができたと思います。

午後は、PTA主催の「スーパーシャボン玉ショー」が行われました。体育館がコンサート会場のように、シャボン玉でいっぱいになりました。中庭では、多くの児童がいつまでもシャボン玉を自分たちで作っていました。世界一のシャボン玉を造る杉山兄弟の夢と希望、創意工夫を続ける姿に感動しました。準備片付け等PTAの方々ご協力ありがとうございました。来年度も11月の土曜日に開催する予定です。



## みんなで協力児童ボール大会

12月3日(水)野比小学校に於いて児童ボール大会が行われました。野比小、野比東小、栗田小の3校が集まり、6年生各クラス2チームに分かれ、サッカーとバスケットボールの試合を行いました。開会式では、大会の目的として、①フェアプレー②ポジティブな声援③思い出ができるような大会にという話がありました。

栗田小は、体育の授業や、普段の練習から声を出し合い「みんなで協力」してきた成果が発揮され、寒い中でしたがよく動いていました。他校の先生方からも、全員でのプレー、クラスでまとまった応援、話を聞く態度のすばらしさなどの言葉をいただきました。



## 研究の成果を市内に発表

11月17日(月)の5校時に本校の算数研究を市内の学校に向けて発表しました。5年生「面積」の授業を公開しました。三角形の面積を今まで習った方法を用いて求める授業でした。児童は、長方形や平行四辺形などに變形するために、図形を切ったり補助線をかき入れたり式を立てたりと考えていました。

また、11月19日(水)には、6年生が理科の授業で「塩酸にとけたものは鉄なのか」について自分たちの考えを出し合いました。11月26日(水)には、にこにこ級で「ボウリングへでかけよう」という授業を行い、しおりを作成していました。どの授業も教育委員会や他の学校の先生方も来られ、児童と教師が熱心に取り組んでいる姿にお褒めの言葉をいただきました。



これからも「自ら考え、表現できる子」を目指して、日々の授業に取り組んでいきます。

## 宿題や学習の振り返りを

グリーンカードや家庭学習のすすめをご活用いただいていることと思います。各クラスからは、宿題を出していますがそれだけでなく知識定着のためには、その日のうちに復習をすると良いという脳科学者のデータがあります。音読や漢字練習、ノートを見るなど家庭でもできる学習を合間をぬって見ていただくと児童の意欲につながります。

また、各担任は来週の予定を毎週出しています。ご覧になり学習の支度をしっかりすることも学力の向上につながります。ぜひご協力お願いします。



